

科目名	母性看護援助論Ⅲ (周産期異常の看護)	分野/教育内容	専門分野/母性看護学
開講年次・時期	2年後期	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 2 単元で構成される ・ ハイリスク：10 時間 ・ <u>周産期異常の看護：20 時間</u> (館下 10 時間・千葉 10 時間)
担当講師名	館下 卓子	所属・役職	主任看護師/助産師
		資格・免許	看護師・助産師
	千葉 勝子	所属・役職	専任看護教員
		資格・免許	看護師・助産師
授業の概要	妊娠・分娩・産褥経過中にみられる異常、妊婦・産婦・褥婦および胎児・新生児におこる問題を理解し、医学的対応、健康状態のアセスメントを学ぶ		
到達目標	1. 妊娠期・分娩期・産褥期の異常の看護のポイントを理解する。 2. 母性看護における看護過程の展開を理解する。 3. 周産期における保健指導の実際を理解する		
事前学習内容	母性看護援助論Ⅰ(妊娠・分娩)母性看護援助論Ⅱ(産褥)で学習した内容を復習しておく		
成績評価の方法	試験(100 点) 終講試験 80 点(館下) 保健指導の実際 20 点(千葉) ※グループワークの取り組み方・態度から総合点数からの減点もある。		
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実践 2026 年 1 月 20 日発行第 3 版第 3 刷 ナーシング・グラフィカ母性看護学③母性看護技術 2026 年 1 月 20 日発行第 6 版第 3 刷		
授業回数	授業概要(主な学習内容)	授業形態	担当
第 1 回	妊娠期の異常①	講義	館下
第 2 回	妊娠期の異常②		
第 3 回	分娩期の異常		
第 4 回	産褥期の異常		
第 5 回	帝王切開術の看護・まとめ		
第 6 回	死産を経験した家族へのケア	DVD 視聴	千葉
第 7 回・第 8 回	周産期における保健指導 教材づくり	グループワーク	
第 9 回	周産期における保健指導の実際①	演習・ロールプレイ	
第 10 回	周産期における保健指導の実際② まとめ	演習・ロールプレイ	
講義終了 1 週間後	終講試験		館下 千葉
履修上の留意点	・ グループワークは相手の考えを尊重しつつ自分の考えも積極的に述べ、活発な意見交換を行うこと ・ 疑問点や不明な点があれば積極的に質問し、その場で解決するよう主体性をもって授業に臨むこと		